

発行編集 長岡民主商工会
長岡市中沢町一六七・一
〇二五八・三三三・五九四八

2018年
12月10日
第1935号

新年旗開きは1月11日(金)開
催。誘い合せて参加し良い1年の
スタートを切りましょう。

「いのちと健康を守る学習交流会」が開催され 共済の成り立ちから支え合い制度の意義を確認

新商連共済会は11月25日(日)、新潟市ANAクラウンプラザホテルで「いのちと健康を守る学習交流会」を開催し、県内各民商共済会から役員を中心に多数の参加がありました。社会保障の現状として今年度から国保の運営主体が県に移管されました。初年度となる今年度は国保料の値上げは控えられたものの来年度以降は値上げの可能性も考えられます。高い国保料を支払えないという相談が民商に寄せられるなど負担は重いものとなっています。応能負担の原則に立ち返り、厳しい取立てが行われることがないような対策を行政には求めたいところです。

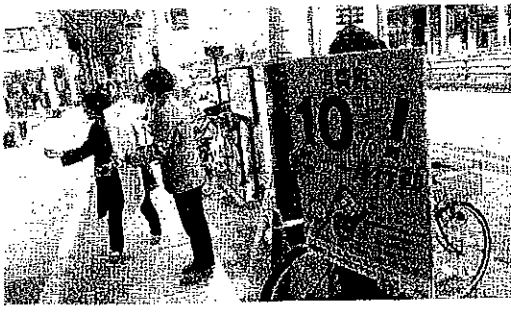
さて、この学習交流会に向けて各民商では共済会員拡大の行動を行い、活動報告を監物忍・長岡民商共済会理事長が行いました。長岡民商では役員と事務局が組みとなって共済未加入者宅を訪問し、加入を呼びかけ。このうち、塗装業を営む会員さんは現在、ご本人が未加入、奥さんのみが加入という方。突然の訪問にもかかわらずご夫婦で共済の趣旨や制度など話を聞いていただいた結果、ご本人の加入に繋げる事ができました。対話することの重要性を改めて感じる訪問となりました。これからも共済についての理解と健康に対する意識を高め、支えあい共済の輪を広げるべく活動をしていきたいと思えます。後半は新潟市出身の落語家、水都家艶笑師匠が「家族そろって笑顔で健康」と題して講演。ご自身の家族の日常を織り交ぜながらの話に会場から笑いが起こりました。笑いは免疫力を高め、病気予防に役立つとされていきます。健康でこそその商売繁盛です。健康に対する意識を向上させ、いざというときの備えとして共済会活動の重要性を認識しました。



消費税増税STOPへ 長岡各界連が街頭活動

消費税の10%増税阻止を掲げる長岡各界連は11月26日(月)、アオーレ長岡前にて宣伝・署名活動を行いました。長岡民商からは椛澤政晴会長が演説と署名、酒井光男副会長が「消費税困る」の歌を歌いました。署名、チラシ配布のほか、シール投票も行い、結果は10%は仕方ない・1人、10%は困る・12人、もうムリ!ふざけるな・20人と増税に反対する声が多数を占めました。対話の力で増税にSTOPをかけましょう。

次回は12月25日(火)12時15分アオーレ長岡前にて宣伝行動を行います。たくさんのご参加をお待ちしています。



大腸がん検診は203名が受診

毎年、秋に共済会が実施しています大腸がん検診。今年は11月11日(日)、12日(月)に行い、合計で203名が受診しました。検査結果は今週の商工新聞とっしょにお届けしています。

